

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	I Le 南風原 ちむぐくる		
○保護者評価実施期間	8年 1月 26日		～ 8年 3月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	8年 1月 26日		～ 8年 3月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	◎活動プログラムや内容	・活動内容が固定化されない様にさまざまな活動を考え、色々な事を試行錯誤しながら実践しています。	・児童に様々な経験、体験をしてもらいたいので、職員にも新しい事に挑戦する力や発想できる環境を作り上げる。
2	◎子ども達一人一人の支援、保護者との関係性	・子ども達一人一人の個性をしっかりと理解し統一した支援ではなく、個々に寄り添った支援になるよう心がけています。 ・子ども達を預かる事業所として保護者の方に安心、信頼してもらえるよう日々の業務に取り組んでいます。	・子ども達一人一人の個性を職員だけではなく子ども達同士で理解し子ども達同士で補いながら成長できる環境を作っていく。 ・保護者の方と信頼関係を築き協力してもらいながら一緒に事業所を作り上げていきたい。
3	◎子ども達同士の繋がり、思いやり	・自事業所では症状が重度から軽度まで幅の広い受入れを行っており、それぞれが関わりを持ち、子ども達同士で思いやりや成長が促されるよう取り組んでいます。	・これまでと同様に幅広い受入れを行い、子ども達同士でも色々な人がいる事を学び許容や理解を深めてもらいたい。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	◎地域、事業所での災害などの緊急時の対応方法や訓練の保護者への周知	・マニュアルの作成や防災訓練や防犯訓練など実施はしていましたが、保護者へその内容の報告などが上手く伝えきれていなかった。	・実施した際の報告や事業所での災害、防犯対応マニュアルなどを保護者にも配布し内容を知ってもらう。
2	◎事業所の広さ、物の配置	・通っている児童の身体的な成長や車いすの児童もおり、空間が小さく感じられる。 事業所の広さ、物の配置 事務所の広さと配置、棚の位置などが要因。	・事務所の広さを調節し、フロアを広く取れるよう物や棚の位置を変える。 ・収納スペースを工夫し空間を広くとれるようにする。
3	◎地域の子供達や通っている保護者同士の関わり	・コロナやインフルエンザなどの事を考え課題を遠ざけていた。 ・イベントにて保護者参加の機会もあったが交流としては上手く機能していなかった。	・状況も落ち着いてきているので地域の行事などの参加を増やしていきます。 ・保護者同士の交流を目的とした機会をつくります。